

## [調査の趣旨・目的]

美しい山形・最上川フォーラムは、平成13年7月26日に設立され、まもなく20周年を迎えます。この間、わが国の社会経済は大きく変貌し、地方の疲弊や地球規模での環境問題が深刻化しております。こうした時期に、当フォーラムとして、改めて設立の原点に立ち返り、新しい時代における美しい山形づくりの一翼をこれまで以上に担っていくことを、高らかに宣言したいと考えます。数十年先を見据え、美しく元気な山形を次世代に引き継ぐ活動をさらに充実発展させていく方策を検討するため、会員の皆様にアンケートを実施いたしました。

## ■ 実施状況

令和2年7月9日に全会員あて配付し、8月末日までに回収したものを集計しました。

配付総数 3,408会員（個人3,097 法人237 団体31 行政43） ※住所不明を除く

回答数 127会員 回収率 3.7%

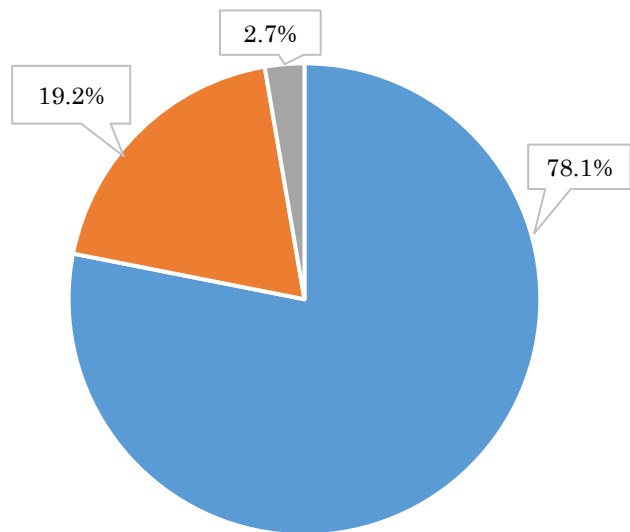
## ■ 回答者の概要

### 【会員の種別】

□ 個人 73会員（回収率 2.4%） □ 法人または団体 54会員（回収率 17.4%）

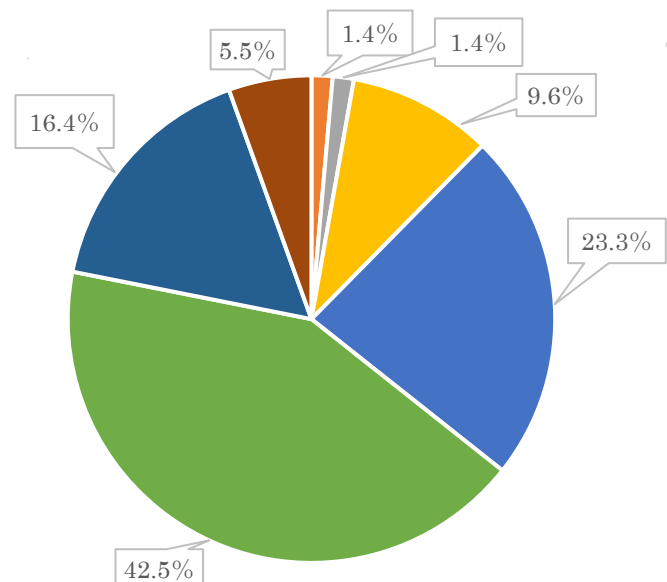
### 【性別】

■ 男性 57人  
■ 女性 14人  
■ 不明 2人



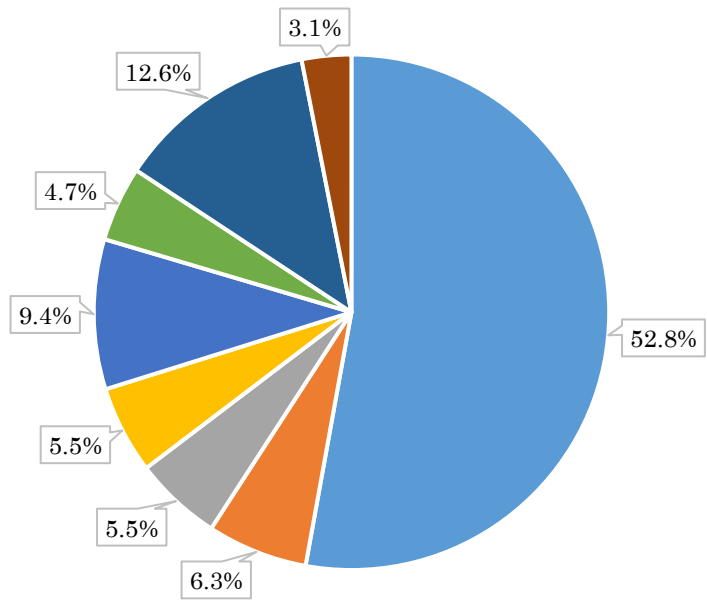
### 【年齢】

■ 20歳未満 0人  
■ 20歳以上～30歳未満 1人  
■ 30歳以上～40歳未満 1人  
■ 40歳以上～50歳未満 7人  
■ 50歳以上～60歳未満 17人  
■ 60歳以上～70歳未満 31人  
■ 70歳以上～80歳未満 12人  
■ 80歳以上 4人



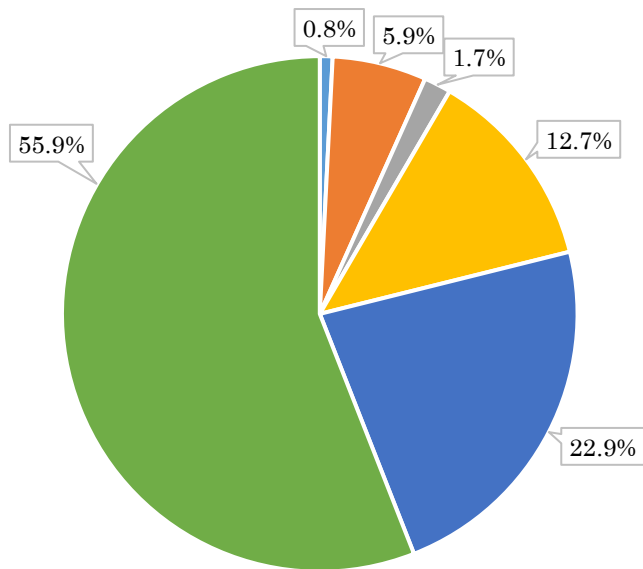
【居住（所在）地域】

東南村山地域	67 会員
西村山地域	8 会員
北村山地域	7 会員
最上地域	7 会員
東南置賜地域	12 会員
西置賜地域	6 会員
庄内地域	16 会員
県外	4 会員



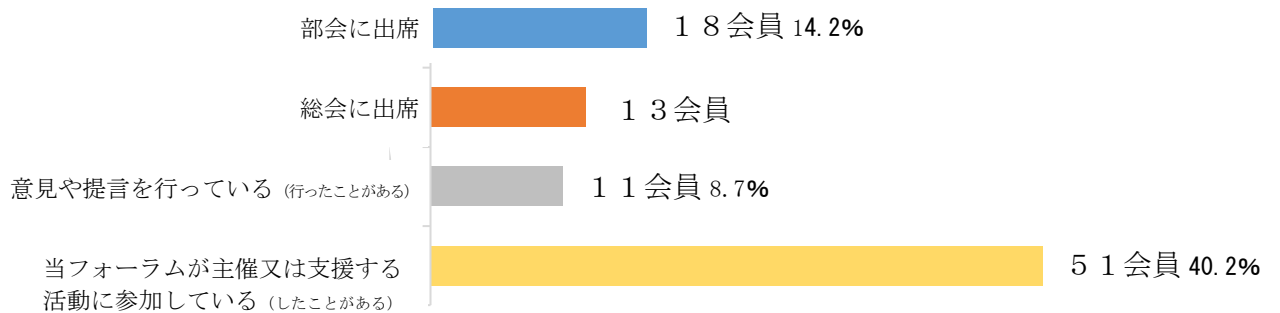
【会員歴】

1 年未満	1 会員
1 年以上～3 年未満	7 会員
3 年以上～5 年未満	2 会員
5 年以上～10 年未満	15 会員
10 年以上～15 年未満	27 会員
15 年以上	66 会員

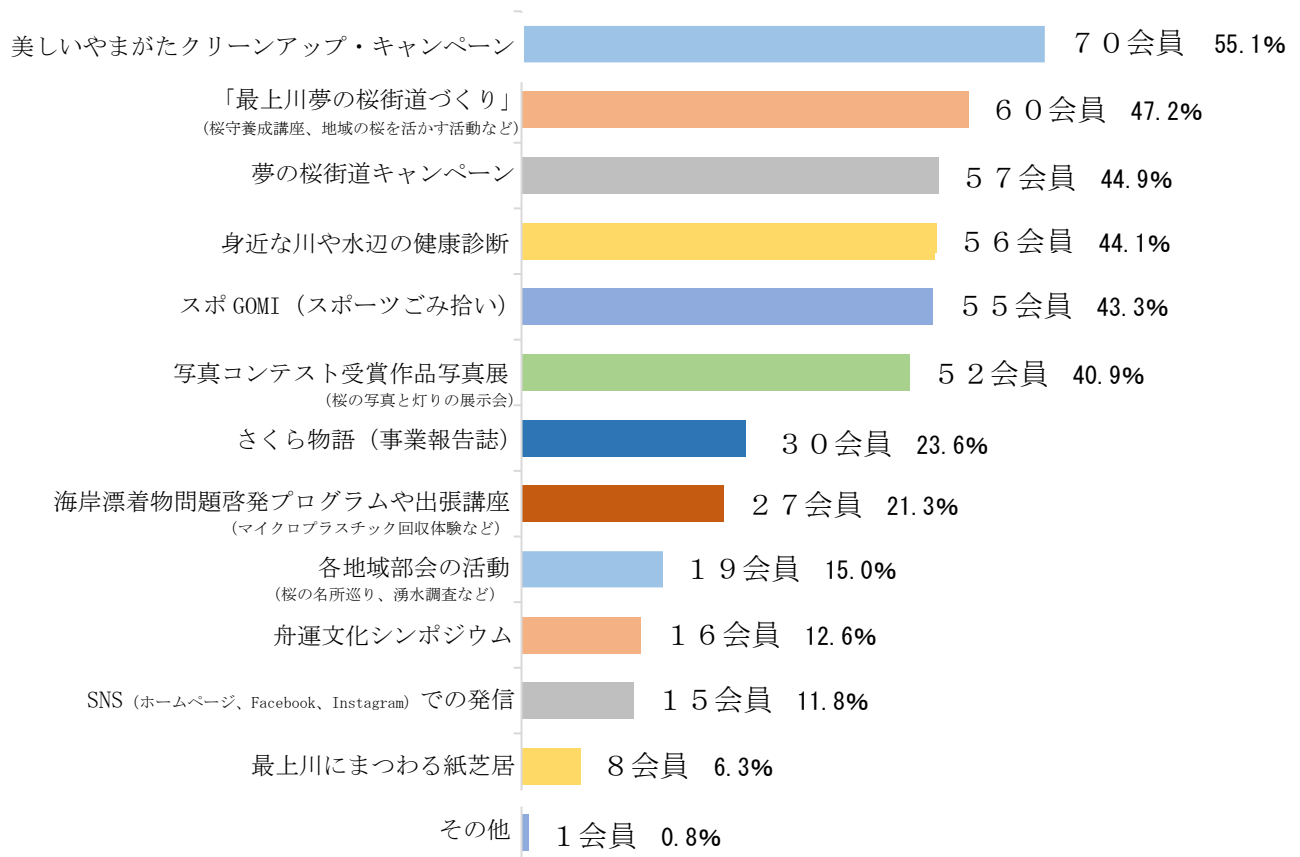


■ 設問に対する回答

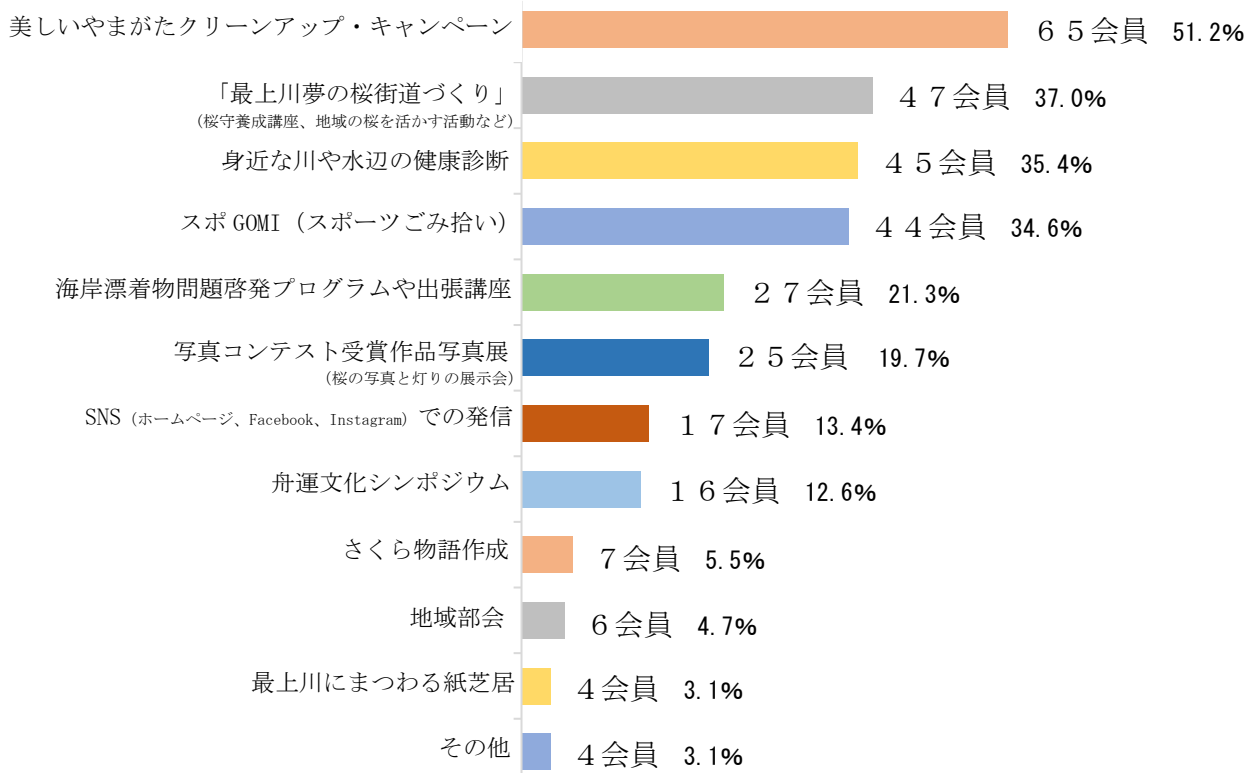
(1) 会費納入以外に、あなたが当フォーラムに関わっていることを教えてください。



(2) 当フォーラムが実施している活動のうち、知っている（又は参加したことがある）ものを挙げて  
ください。（回答数の多い順）



(3) 特に重要と思われる活動はどれですか。また、今後新たに取り組むべきと考える活動があれば  
御提案ください。（回答数の多い順）



### 【自由記載】

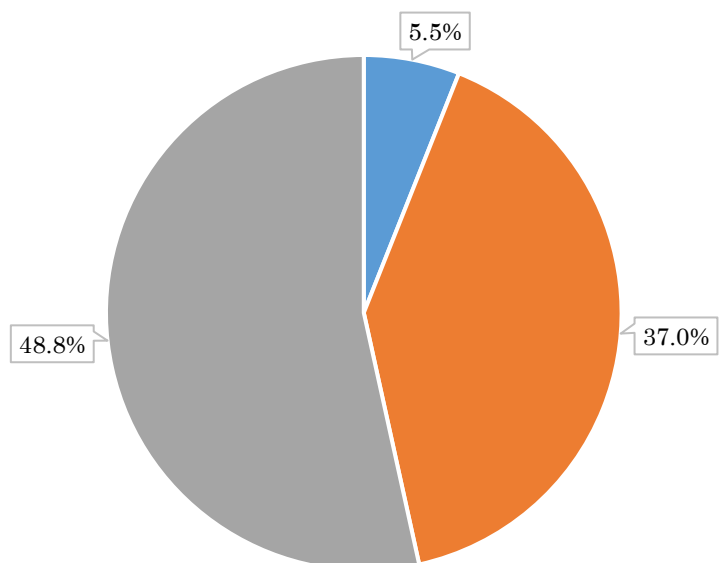
- 児童生徒の学びの機会、青少年団体と連携や次世代の育成確保など：5件
- 地球温暖化対策、環境対策の取組み強化：4件
- 桜の札所スタンプラリーや桜並木の整備など桜街道の推進：3件
- 最上川遊覧、ハイキングコース整備、アウトドアツーリズム、街歩きなど観光の推進：3件
- 防災対策も含めた親水活動（講座、フィールドワーク）など：3件
- 新たな視点での事業展開、広い視野での連携協調の促進：2件
- 啓発・提言活動（温暖化、海ごみ・エネルギー・災害多発など）国交省・学識者・専門家による講座、広報チラシ、ホームページの充実：2件
- 一般の人に良く見えない、広報の充実：1件
- 現状の取組みを大切に：1件
- 参加して良かったと心に残る企画・催事の検討：1件
- フォーラム運営スタッフの育成：1件

(2) 「美しい山形・最上川サポーター(仮称)」の創設と「サポーター1万人構想」(注1)についての御意見(サポーターの活動の提案など)を記入してください。

- 新たな考え方がないとジリ貧、会員の高齢化対策、若い世代の確保が重要：6件
- サポーターバッジの作成など：1件
- もっと広い視野で協調拡大：1件
- サポーターと会員との区別は？：1件
- 会員1万人が優先：1件

(3) あなたは「美しい山形・最上川100年プラン」(注2)について知っていますか。

■ よく知っている	7 会員
■ ある程度知っている	47 会員
■ 知らない	62 会員



(6) 今後数十年先を見据えた、新しい活動計画（アクションプラン）についての御意見、御提案をお寄せください。

- 河川環境と水質の保全が重要：6件
- 世代交代、女性と若者の参画、会長に次ぐ国交省にパイプのある指導者が必要：5件
- これまでの蓄積を活かす、継続が大事：3件
- 時点修正、再評価、メンテナンスが必要：2件
- 国・県・市町村の公的機関の関与強化：2件
- 当面の課題に対応する活動の柱の明確化、防災やウィズコロナも踏まえた活動：2件
- 最上川夢の桜街道の検証、交流人口増加施策の立案：2件
- 東京一極集中から豊かな地域づくりへのシナリオ：1件
- 地域と如何に連携するか地道なことが大切：1件
- 意見交換、発表の場としてのFACE TO FACEの部会が懐かしい：1件
- 具体的にどういった活動をしているか分からない：1件

(注1) 「美しい山形・最上川サポーター(仮称)」の認証制度を創設し、認定証及びバッジ等を交付することにより、フォーラムの活動に対する継続的な参加意識を醸成し、将来にわたるフォーラムの応援団として育成するもの。参加年数に応じてグレードを更新する。設立20周年を迎える令和3年度(2021年)に発足させ、5年以内(2025年まで)に1万人の達成を目指す。

(注2) 「美しい山形・最上川100年プラン」は平成14年7月に制定され、以下の内容で構成されている。

- ◆ 美しい山形づくり運動の進め方
- ◆ 「美しい山形づくり」に参加するそれぞれの主体の役割
- ◆ 長期的目標(基本方向)イメージ
- ◆ テーマごとの活動計画 テーマごとの活動計画 テーマごとの活動計画
- ① 清流化・・・美しく豊かで健全な水環境を守り育てる～水質・水循環・自然環境・生態系等の保全、回復
- ② 散乱ゴミ対策・・・ゴミを減らし捨てさせない意識改革と社会の仕組みづくり
- ③ 県民活動の推進・・・地域づくりへの県民参加・参画と官民協働の仕組みづくり
- ④ 最上川文化の継承と発展・・・川が育んできた地域の文化を見つめ直し未来に活かしていく
- ⑤ 最上川の利活用による地域経済の活性化・・・交流拡大のための環境整備、最上川を軸とした観光立県、産業振興

⇒ 詳しくはホームページを参照 <http://www.mogamigawa.gr.jp/about/outline/gaiyou/>